

第10期（2023年3月期）決算公告

2023年6月30日

東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
株式会社アトラス
代表取締役社長 大橋 修

第 10 期 事 業 概 況

自2022年4月1日

至2023年3月31日

事業の経過及びその成果、事業の状況

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、コンシューマ分野におきまして、ゲームプラットフォームが拡大・多様化するとともに、ゲームコンテンツやサービスのデジタル化が進行しております。その結果として、パッケージ販売に加え、ダウンロード販売、F2P、サブスクリプションサービス等の登場・発展、及びグローバルでのコンテンツ・サービス提供機会の拡大による収益機会の多様化や、販売期間の長期化等、市場環境が大きく変化し続けております。新型コロナウイルスの感染拡大による世界規模での消費行動変化の反動から、市場動向には落ち着きが見られたものの、依然としてグローバルでのゲーム市場の活性化や成長に対する期待が持続しています。

このような経営環境のもと、当社は主力パッケージゲームタイトルの発売、ライセンス事業に注力し、業績は好調に推移しました。

パッケージゲーム事業においては、

◇十三機兵防衛圏（Nintendo Switch版）

◇ソウルハッカーズ2

◇ペルソナ5 ザ・ロイヤル（リマスター版）

◇ペルソナ3 ポータブル（リマスター版）

◇ペルソナ4 ザ・ゴールデン（リマスター版）

を発売致しました。

『ペルソナ5 ザ・ロイヤル（リマスター版）』は全世界170万本販売を達成、『ペルソナ5』全体では全世界900万本以上の売上を記録しています。

また、『ソウルハッカーズ2』・『ペルソナ5 ザ・ロイヤル（リマスター版）』『ペルソナ3 ポータブル（リマスター版）』『ペルソナ4 ザ・ゴールデン（リマスター版）』は全世界の幅広いユーザーにプレイして頂くことを実現すべく、各CSハード+Steam+Windowsへ全世界同時リリース致しました。（『ペルソナ4 ザ・ゴールデン（リマスター版）』のみ、2020年6月に先行してsteam版を発売しております。）

これにより、引き続き当社の海外売上シェアは高い水準を維持しております。

ライセンス事業においては、前期より実施していた『ペルソナ25thフェス』の一環として、2022年5月よりところざわサクラタウンにて約2か月間の特別展示を行い、ご好評を頂きました。

また、2022年10月には約3年ぶりとなる音楽イベント「PERSONA SUPER LIVE P-SOUND WISH 2022 ～交差する旅路～」、2023年1月には「十三機兵防衛圏オーケストラコンサート」を開催し、これらも盛況のうちに終了致しました。

他、引き続き他社の有力なスマートフォンゲームタイトルと当社のIPとの大型コラボレーションに取り組み、ご好評を頂いております。

このような事業活動の結果、グループへの利益貢献は大きく果たすことが出来ました。

一方で、当社単体の損益は、2013年11月の事業譲渡に起因し発生した営業権を每期償却しているなどの影響もあり、2023年3月期は損失計上をしておりますが、セガサミーグループの連結決算におきまして収益面で大きく寄与をしております。またバランスシートでは、自己資本比率が93.13%、流動比率が202.4%と財務面の健全性も高い水準を維持しております。

今後もお客様に喜んでいただけるゲームタイトルを開発し、グループ業績にも貢献し続けていくことが当社の使命だと考えております。

貸借対照表

〔2023年3月31日現在〕

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	12,270,533	流動負債	6,062,544
現金及び預金	764,651	買掛金	159,518
売掛金	184,673	未払金	4,368
仕掛品	7,362,611	未払費用	219,253
未収入金	441,755	預り金	39,126
前払費用	68,293	賞与引当金	300,142
関係会社預け金	3,154,844	前受金	5,340,135
立替金	133,780		
未収法人税等	157,674		
その他	2,249		
固定資産	904,897		
有形固定資産	88,872		
建物及び附属設備	52,753		
工具器具及び備品	36,118	負債合計	6,062,544
無形固定資産	628,008	(純資産の部)	
ソフトウェア	11,975	株主資本	7,112,886
のれん	616,032	資本金	10,000
投資その他の資産	188,016	利益剰余金	7,102,886
長期前払費用	6,031	利益準備金	2,500
敷金及び保証金	20	その他利益剰余金	7,100,386
繰延税金資産	181,964	繰越利益剰余金	7,100,386
		(うち当期純損失)	(1,038,531)
		純資産合計	7,112,886
資産合計	13,175,430	負債・純資産合計	13,175,430

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 自 2022年4月1日
至 2023年3月31日 〕

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000	2,500	8,138,917	8,141,417	8,151,417	8,151,417
当期変動額						
当期純損失(△)			△1,038,531	△1,038,531	△1,038,531	△1,038,531
当期変動額合計	-	-	△1,038,531	△1,038,531	△1,038,531	△1,038,531
当期末残高	10,000	2,500	7,100,386	7,102,886	7,112,886	7,112,886

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である5年間の定額法によっております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、効果の発現する期間を合理的に見積り、その年数である10年間の定額法により償却を行っております。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度における負担分を計上しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② グループ通算制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

(6) 追加情報

① 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

2. 会計方針の変更に関する注記

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

当社は、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる当事業年度の計算書類に与える影響はありません。

3. 表示方法の変更に関する注記

損益計算書

前事業年度まで営業外費用に区分表示しておりました「還付加算金」につきまして、金額的重要性が低下したため（当事業年度 57 千円）、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

種類	発行済株式の数
普通株式	10 株